

東急株式会社グループの 脱炭素社会の実現に向けた取り組み

2022年10月14日

東急株式会社



東急



サステナブル重要テーマ（マテリアリティ）

脱炭素・循環型社会



イニシアチブへの参画

2019年10月



2020年9月



環境ビジョン2030

2022年3月策定

「コンセプト」 なにげない日々が、未来をうごかす

環境に良い行動が特別な負担感なく選択でき、誰もが持続可能な社会と地域環境の再生に貢献できるまちづくりを目指します

1.5℃に抑える水準とともに街の脱炭素に貢献 / ゼロ・ウェイスト社会に向け、輪を広げる

取り組み目標（脱炭素社会）

■ 自社(連結)の事業活動 Scope 1,2

2030年 CO₂排出量 **46.2%**削減（2019年度比）
再エネ比率 **50%**
2050年 CO₂排出量 **実質0**
再エネ比率 **100%**（RE100）

■ 事業活動のサプライチェーン Scope3

CO₂排出量の把握・削減をすすめる
* 今後目標値を設定

■ 街の脱炭素 Scope3を超えて

お客さまの脱炭素を促進するサービス提供やエネルギーインフラマネジメント、自治体連携等を通じて街の脱炭素を促進する

省エネ・
エネルギー
マネジメント

再エネを
利用する

再エネを
創る

街の脱炭素

2022年4月1日(金)より東急線全路線は、 再生可能エネルギー由来の電力100%で運行開始しました

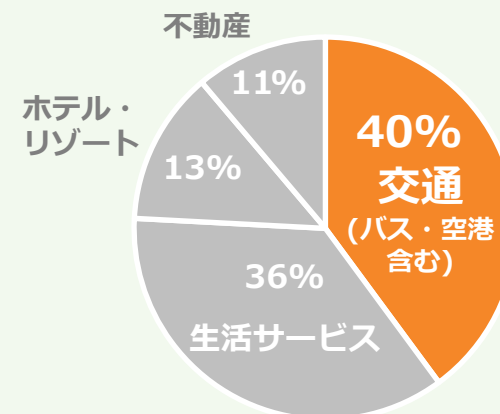
沿線エリアでの脱炭素・循環型社会実現に向けたアクションとして、東急線全路線での運行にかかる電力を実質CO₂排出ゼロの電力に置き換えました。全路線を再生可能エネルギー由来の電力100%にて運行するのは日本初の取り組みです。

■現在の当社グループ全体での年間CO₂排出量の 約3割を占める鉄道事業での再エネ化

⇒鉄道利用促進により、更なる街の脱炭素を推進

- 今後の脱炭素社会の実現に向けて
 - 使用電力量を減らす省エネ施策（車両更新、駅照明のLED化、設備機器の高効率化）
 - 太陽光発電などの自社再エネ発電スキームの検討にも取り組んで参ります

当社2021年度温室効果ガス排出量
(事業セグメント別 Scope1,2)



ブックオフと連携した お忘れ物のリユース・リサイクル



ユニリーバと連携した 使用済みプラスチック容器のリサイクル



- 今後実施予定の取り組み -

創エネ

コーポレートPPAでの電力調達

新たに開発する中小型太陽光発電所の再エネ電力を、当社グループの渋谷ストリーム、南町田グランベリーパーク、東急歌舞伎町タワーで利用していくためのコーポレートPPAスキーム構築への取り組みを開始

環境価値証書だけに頼ることのない、追加性ある再エネ電源の使用を進めます

.....
その他さまざまな施策を検討中

資源利用や
ゼロ・
ウェイスト

地域連携
産業連携

これからも「人と街と環境の調和」をめざしたサステナブルな街づくりを目指してまいります